

RCJ ESD COORDINATOR資格更新セミナー

ガイダンス

RCJ ESD COORDINATOR認証専門委員会 事務局
(一財) 日本電子部品信頼性センター

注) 名称としてESD COORDINATORを優先するが、ESDコーディネータも使用する
(2006年11月から、認証カードに印刷する名称をESD COORDINATORにした)

目 次

1. 更新セミナーの目的、制度のレビュー
2. 認証の基準となる規格（IEC 61340シリーズ）の状況
3. レポート問題

更新セミナーの目的

- ・ESD管理技術力向上の機会の提供
(教育・訓練の機会)
- ・ 基準となる規格（IEC 61340シリーズ規格等）の制定・
改訂状況の概要の説明

本スライドの後半に現状の規格の状況を示していますので、
参考にして下さい。

ESD COORDINATOR資格の維持（2006年改訂）

分類	有効期限	更新
ESDC	<ul style="list-style-type: none"> ・3年 ・1年毎に維持費（会費）要 8,000円 （初回合格年度は免除） ・認証カードを1年毎に発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年毎に更新セミナー受講要 （有料）（5-1,5-2規格） ・試験無し（レポート提出有り）
主任 "	<ul style="list-style-type: none"> ・3年 ・1年毎に維持費（会費）要 8,000円 ・認証カードを1年毎に発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年毎に更新セミナー受講要 （有料）（ESDCと同じ内容） ・試験無し（レポート提出有り）

・年会費の年度： 該当年の4月～翌年3月

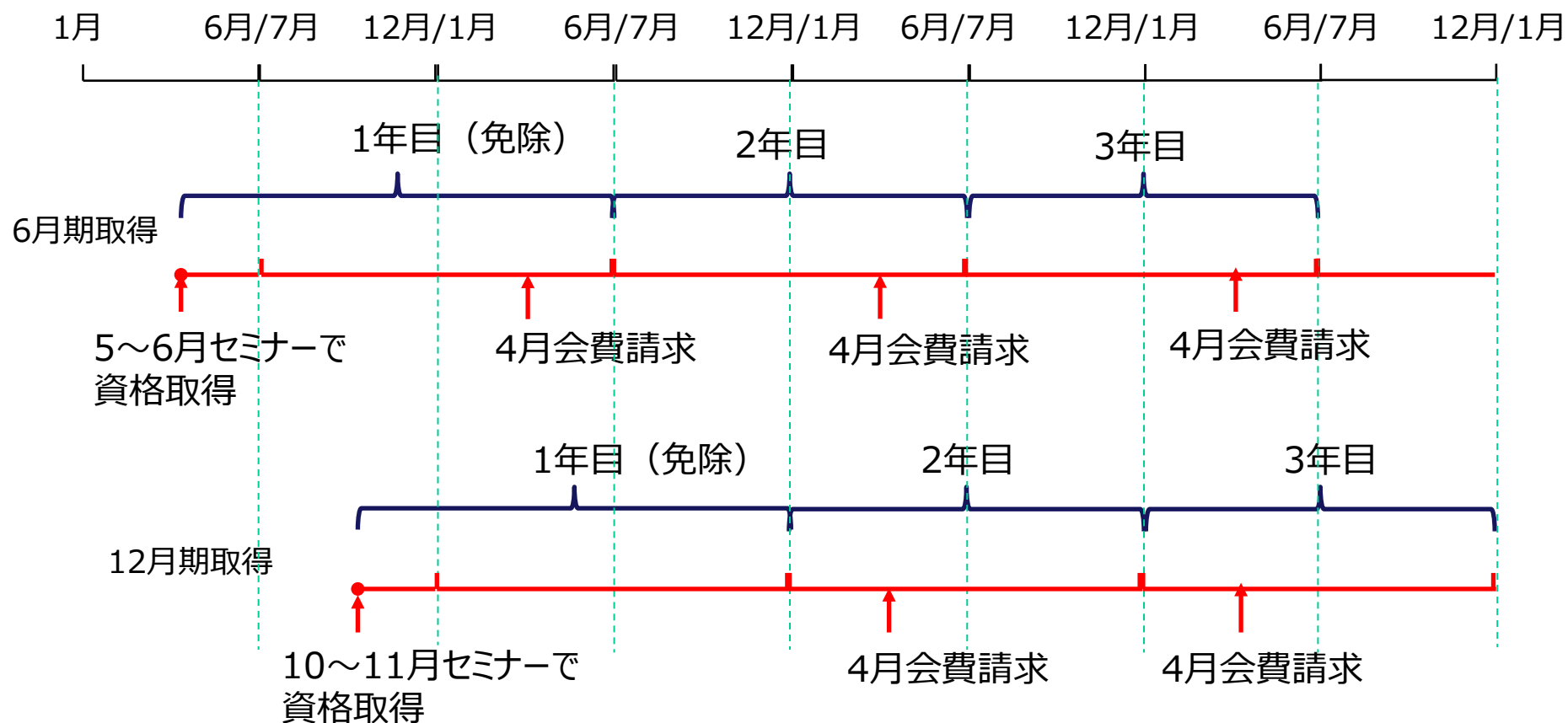
・認証カードの有効期限

（初回5、6 月受講者： 当該年7月～6月（例：2026年7月1日～2027年6月30日））

（初回8～11月受講者： 翌年1月～12月（例：2027年1月1日～2027年12月31日））

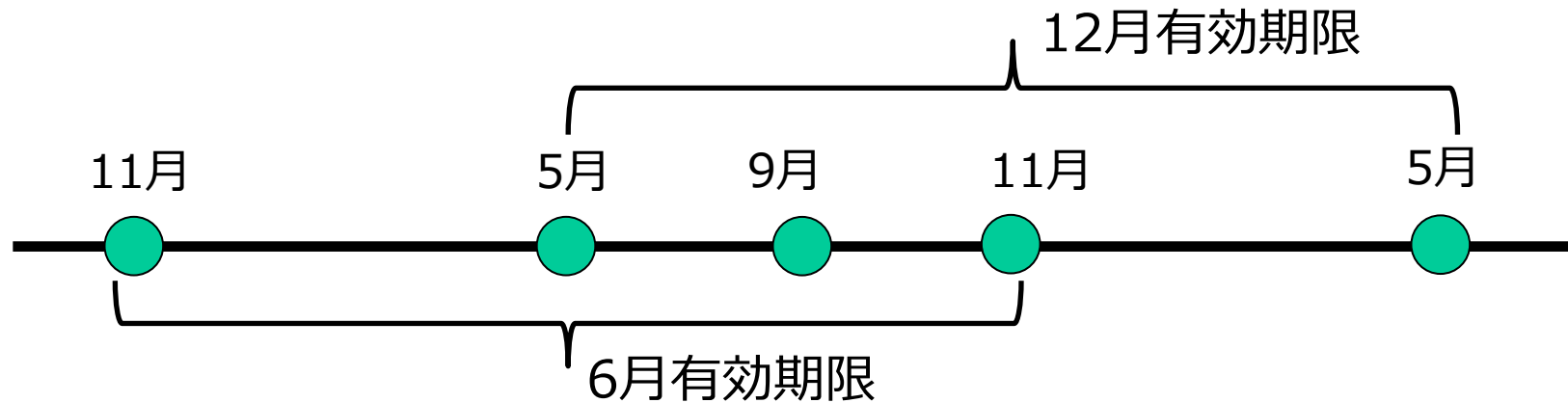
資格維持費（会費）請求の時期

- ・資格取得後1年間は、資格維持費請求無し
- ・6月期資格取得者： 年度は7月1日～翌年6月30日、資格維持費年会費の請求は4月期
- ・12月期資格取得者： 年度は1月1日～12月31日、資格維持費年会費の請求は4月期



ESD COORDINATOR資格更新の要領

更新セミナー受講機会： 4回 （セミナーは年3回実施）



注1： 期限切れの半年後に更新セミナーを受講された場合は、
期限切れから半年は、登録書（認証書）、認証カードが発行されません。

注2： 期限切れ後の半年以内に更新セミナーを
受講されなかった場合は、資格失効となります。

注3： 期限切れの半年前に更新セミナーを受講された場合も
有効期限の変更はありません。

維持費（会費）の主な使い道

- ① ESDC会員の情報管理
（資格維持状況、所属、住所等）
 - ・所属等の変更がある場合は、以下のRCJのHPより届出をお願いします。
<https://rcj.or.jp/esdc-profilechange>
- ② 認証カード発行（毎年）
- ③ 情報発信
 - ・RCJ通信（メルマガ）
 - ・ESD COORDINATOR会報の発行

ESD COORDINATOR有資格者の認証書等

- ・認証書（A4版） 有効期限：3年
- ・認証カード（名刺サイズ（プラスチック））：有効期限 1年

認証カード記入項目

必須： 氏名、認証番号（RCJが付与）

希望： 写真、社名

（・社名、写真等変更があれば、下記URLより申請をお願いします。

<https://rcj.or.jp/esdc-card>）

ESD COORDINATOR認証カード

主任の場合表記

写真不要の場合無し

主任の場合表記

RCJ ESD Coordinator

CHIEF

社名

氏名

ローマ字

有効期間

認証番号

写真

財団法人 日本電子部品信頼性センター
東京都中央区日本橋3-4-13 新第3ビル6F
TEL: 03-3272-2736 URL: <http://www.rcj.co.jp>

ESD Coordinator

CHIEF

注意事項

1. 本登録証は、他人に貸与又は譲渡してはならない。
2. 本登録証は、ESDコーディネータの資格証明の目的以外に使用してはならない。
3. この登録証は、ESDコーディネータの資格を消失した場合、発行者に返却しなければならない。
4. この登録証を紛失したときは、直ちに発行者に届け出なければならない。

専門:

RELIABILITY CENTER FOR ELECTRONIC COMPONENTS OF JAPAN
Electro-Static Discharge Coordinator Association of JAPAN

有効期限1年

主任で専門分野申請を行い認められた場合表記

・年度毎に図案が替わる（マークの色等）

RCJからの情報発信

RCJ通信（メルマガ）

毎月1回、ESD管理に関する情報配信

- ・RCJ開催の各種セミナー、シンポジウムなどイベントのご案内
- ・規格の動向と解説
- ・静電気対策Q&A 等
- ・バックナンバーは、<https://rcj.or.jp/mail-magazine>に掲載

ESD COORDINATOR会報の発行

会報の内容

ESDに関する技術情報

（現在は、ESD白書（ESDA発行記事の邦訳）を毎号掲載）

会報の発行形態

- ・RCJ HP (https://rcj.or.jp/esdc_rep) に掲載（2008.3月から発行）
- ・毎月発行（月初めに掲載）
- ・文書はパスワードで保護
- ・パスワードは、共通で“rcj_esdc”

ESD COORDINATOR 資格基準規格の動向

最初に使用した規格

- IEC TR 61340-5-1:1998
(静電気現象からの電子デバイスの保護 - 一般要求事項)
1998年発行のタイプ2のTR (完全な国際規格 (IS) でない)
- IEC TS 61340-5-2:1999
(静電気現象からの電子デバイスの保護 - 指針)
1999年発行のTS (完全な国際規格 (IS) でない)

現在使用している規格 (2026年度から)

- RCJS-5-1 (第4版) : 2025 (IEC 61340-5-1 IS ed. 3.0 (2024) 対応)
- RCJS-TR-5-2 (第2版) : 2017 (IEC TR 61340-5-2 ed. 2.0 (2017) 対応)

注 : IS (国際規格)、TR (技術報告書) : データ集や参考書と位置づけられる。

RCJS-5-1発行の経緯

(1) IEC国際規格の発行状況

- ・最初にIEC/TR2 61340-5-1:1998が発行された。
- ・2007年に改訂され、正式な国際規格としてIEC IS 61340-5-1：2007発行された。
- ・この際、IEC TC101（静電気）で方針変更があり、参照する規格が欧州規格から米国規格に変更された。

(2) IEC IS 61340-5-1：2007の問題点

- ・その新規格を、そのまま翻訳して、日本国内に適用すると、接地関係（保護抵抗無しで人体接地を許容）で人体安全性上問題があることが判明した。

(3) JIS制度での取扱い

- ・接地環境は、IEC/TR2 61340-5-1:1998を採用し、その他は、IEC IS 61340-5-1：2007を採用したJIS作成が可能かどうかJISC（日本産業標準調査会）に打診した。
- ・IEC IS 61340-5-1：2007があるのにIEC/TR2 61340-5-1:1998を基にしたJIS規格はJIS制度として認められないとのJISCの判断で、団体規格（RCJS）として公表することにした。

(4) RCJS-5-1の発行状況

- ・団体規格のRCJS-5-1:2010を2010年6月に発行した。この国内規格として普及させてきた。
- ・第2版を2014年2月に発行した。
- ・第3版を2016年12月に発行した。
- ・引き続き、第4版を2025年12月に発行した。

レポートについて

1. レポート題の問題数

- ・初回更新受講者：2問 ・2回目以降更新受講者：1問

2. 提出締め切り 受講後約1ヶ月後 （2026年6月15日（月））

- ・締め切り： セミナー当日に連絡します
（締め切り後の提出は、減点します（10点/日））
（注：2日過ぎての提出は採点しません。）

3. 提出形態

- ・Eメールで事務局（shiono@rcj.or.jp）に、送付して下さい。
当方からの受信連絡を行います。
ファイル形式はできるだけpdfをお願いします（wordでもOK）。フォーマットは自由
- ・FAX（03-5830-7602）又は郵便でも、OKです。

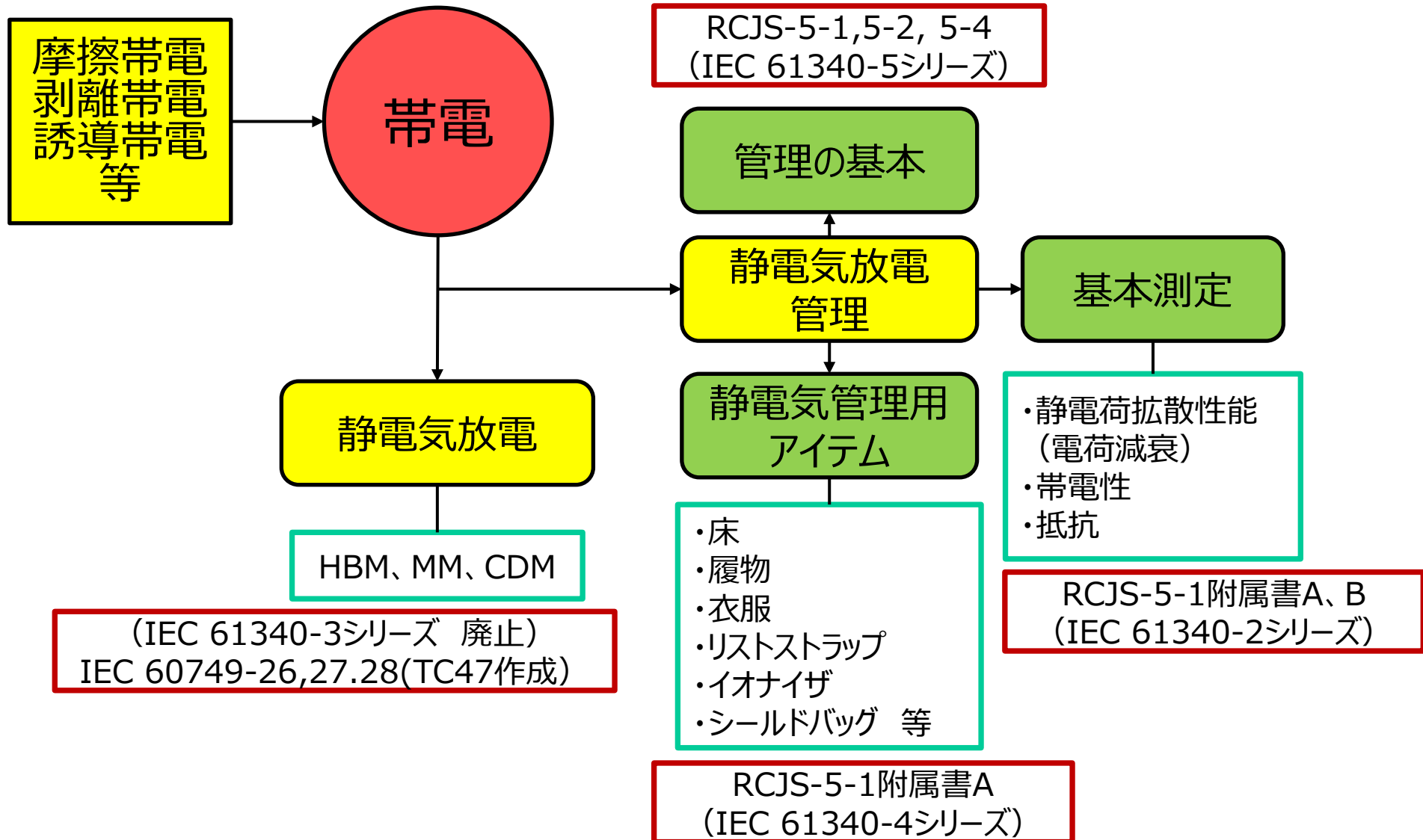
可否通知等

可否通知（登録証）

・2ヶ月目標

- ・合格者には、有効期限を3年間延長した登録証をお送りします。

静電気現象と管理の概念図と対応規格



静電気管理の基本規格の一覧（国内、IEC、米国）

規格概要	国内規格	IEC	米国
基本規格 (一般要求事項)	RCJS-5-1(第4版): 2025	IEC IS 61340-5-1(第3 版):2024	ANSI/ESD S20.20:2021
ガイド(指針)	RCJS-TR-5-2(第2 版):2017	IEC TR 61340-5-2(第 2版):2017	ESD TR20.20:2016 (ESD Handbook)
包装資材要求事項	RCJS-5-1第6章	IEC IS 61340-5-3(第3 版):2022	ANSI/ESD S541:2019
適合性確認 (Compliance Verification)	RCJS-TS-5-4(第1版): 2025発行	IEC TS 61340-5-4: 2026(ed.2)	ESD TR53-01-22

静電気放電に関する規格の一覧（国内、IEC、米国）

規格概要	国内規格	IEC	米国
HBM (Human body model)	JIS C 61340-3-1:2010 (試験の波形のみ)	<ul style="list-style-type: none"> IEC 61340-3-1:2006 (廃止) IEC 60749-26:2025 (IEC TC47作成) 	ANSI/ESDA/ JEDEC JS-001: 2023
MM (Machine model)	JIS C 61340-3-2:2011 (試験の波形のみ)	<ul style="list-style-type: none"> IEC 61340-3-2: 2006 (廃止) IEC 60749-27:2012 (IEC TC47作成) 	ESD SP5.2:2019
CDM (Charged Device Model)	JIS規格は無い JEITA規格がある (EIAJ ED-4701/305C: 2013)	IEC 60749-28:2022 (IEC TC47作成)	ANSI/ESDA/ JEDEC JS-002: 2022

注： TC101が作成したIEC 61340-3-1、3-2は廃止が決定。
その代わりに、TC47（半導体）が作成した上記規格を使用することになった。

静電気測定関連規格の一覧（国内、IEC、米国）

規格概要	国内規格 (RCJS対応項目)	IEC	米国
静電荷拡散性能 (電荷減衰)測定	JIS C 61340-2-1: 2006 (CPMは、RCJS-5-1附属 書A.4)	IEC 61340-2-1 ed.2.1: 2022	CPMは、イオナイザ (STM3.1)の項に記載さ れている
帯電性測定	JIS C 61340-2-2: 2013	IEC/TR 61340-2-2: 2000	無し
抵抗測定	・JIS C 2170:2004 (RCJS-5-1附属書A.8(IEC 2-3:2016対応))	IEC 61340-2-3 ed.2:2016	ANSI/ESD STM11.11: 2022(表面抵抗) ANSI/ESD STM11.12: 2021(体積抵抗) ANSI/ESD STM11.13: 2021(2点間抵抗)

静電気管理用アイテム規格の一覧（国内、IEC、米国）

規格概要	国内規格 (RCJS対応項目)	IEC	米国
床/床材	JIS C 61340-4-1: 2008 (ed.1:2003対応) (RCJS-5-1附属書A.8にも記載)	IEC 61340-4-1 ed.2.1 : 2015	ANSI/ESD STM7.1:2020
履物	JIS C 61340-4-3:2009 (RCJS-5-1附属書A.6)	IEC 61340-4-3 ed.2: 2017	ANSI/ESD STM9.1:2022
床と履物の組み合わせ	JIS C 61340-4-5: 2007 (RCJS-5-1附属書A.7)	IEC 61340-4-5 ed.2: 2018	ANSI/ESD STM97.1: 2015、STM97.2:2016
衣類	JIS C 61340-4-9:2018 (RCJS-5-1附属書A.1)	IEC 61340-4-9 ed.3:2024	ANSI/ESD STM2.1:2018
リストストラップ	JIS C 61340-4-6: 2016 (RCJS-5-1附属書A.2)	IEC 61340-4-6 ed.3:2025	ANSI/ESD S1.1:2021

静電気管理用アイテム規格の一覧（国内、IEC、米国）

規格概要	国内規格 (RCJS対応項目)	IEC	米国
イオナイザ	JIS C 61340-4-7: 2011 (ed.1:2010対応) (RCJS-5-1附属書A.4)	IEC 61340-4-7 ed.3: 2025	ANSI/ESD STM3.1:2015
シールドバッグ	JIS C 61340-4-8: 2014 (ed.1:2010対応) (RCJS-5-1附属書A.5)	IEC 61340-4-8 ed.2: 2014	ANSI/ESD STM11.31: 2018
椅子	(RCJS-TS-5-4 7.3.7)		ANSI/ESD STM12.1:2019
手袋、指サック	(RCJS-5-1附属書A.3、附属書B)		ANSI/ESD SP15.1: 2019
工具	(RCJS-5-1附属書A.、附属書B)		